



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月27日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5727 URL <http://www.toho-titanium.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加賀美 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 松原 浩 TEL 0467-87-2614
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	15,475	△32.8	1,062	△37.8	1,330	△10.6	908	△36.9
28年3月期第2四半期	23,014	36.7	1,709	—	1,488	—	1,439	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 836百万円 (△39.1%) 28年3月期第2四半期 1,372百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	12.77	—
28年3月期第2四半期	20.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	81,368	36,671	44.9
28年3月期	83,033	36,192	43.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 36,550百万円 28年3月期 36,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	△22.9	3,000	△22.9	3,100	△12.5	2,600	△38.6	36.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	71,270,910株	28年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	97,475株	28年3月期	97,283株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	71,173,524株	28年3月期2Q	71,173,743株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページに記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料、決算説明会内容の入手方法）

・決算説明会は、平成28年11月17日に開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)におけるわが国経済は、雇用環境において改善がみられたものの、年初来からの急激な円高による企業収益の悪化や設備投資の伸び悩み、新興国経済の減速や英国のEU離脱問題による影響など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の事業環境は、金属チタン事業については最終需要先である航空機の生産は堅調に推移しておりますが、一部ユーザーにおける原料在庫圧縮の動きによる影響及び大型プロジェクト向け需要の減少に伴う一般工業向け製品への影響等により、総じて厳しい環境にあります。機能化学品事業については、主力製品である触媒、電子材料ともに需要は堅調に推移している一方で、競争環境は厳しさを増しております。

以上の結果、売上高は前年同四半期比32.8%減の154億75百万円となり、営業利益は10億62百万円、経常利益は13億30百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億8百万円となりました。

金属チタン事業

金属チタン事業の売上高は、一部ユーザーでの在庫圧縮に伴う減販及び円高等に加え、前期において海外の連結子会社2社の仮決算方式への変更により9ヶ月を連結したため、前年同四半期に対し減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は前年同四半期比44.7%減の90億32百万円となり、営業利益については、減販及び販売構成差等により前年同四半期比85.4%減の1億32百万円となりました。

機能化学品事業

機能化学品事業の売上高は、触媒関連製品及び電材関連製品ともに増販となったものの、円高及び前期において海外の連結子会社2社の仮決算方式への変更により9ヶ月を連結したため、前年同四半期に対し減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は前年同四半期比3.6%減の64億42百万円となりましたが、営業利益については、増販及び販売構成差等により前年同四半期比14.8%増の19億41百万円となりました。

セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区 分	29年3月期 第2四半期	28年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	9,032	16,331	△44.7%
機能化学品事業	6,442	6,682	△3.6%
合 計	15,475	23,014	△32.8%

セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区 分	29年3月期 第2四半期	28年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	132	909	△85.4%
機能化学品事業	1,941	1,691	14.8%
全 社 費 用	△1,011	△892	—
合 計	1,062	1,709	△37.8%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産の増加があったものの、売上債権の減少、減価償却による固定資産の減少等により、前連結会計年度末比16億64百万円減の813億68百万円となりました。

負債の部は、借入金の返済を主因に、前連結会計年度末比21億43百万円減の446億96百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比4億78百万円増の366億71百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.4%から44.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加18億70百万円、仕入債務の減少2億2百万円等による資金の減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益13億17百万円、減価償却費28億39百万円、売上債権の減少5億96百万円等による資金の増加があり、28億89百万円(対前年同四半期比31億95百万円減少)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3億77百万円等により、△3億76百万円(対前年同四半期比73百万円減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金純減額44億4百万円、短期借入金純増額32億50百万円等により、△21億46百万円(対前年同四半期比35億18百万円増加)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ3億2百万円増の15億28百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、通期の連結業績予想につきましては、前回予想(平成28年7月28日)を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,226	1,528
受取手形及び売掛金	5,148	4,552
商品及び製品	11,002	12,861
仕掛品	4,408	4,431
原材料及び貯蔵品	4,201	4,190
繰延税金資産	952	695
未収入金	1,797	1,463
その他	430	159
流動資産合計	29,168	29,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,434	14,025
機械装置及び運搬具(純額)	25,273	23,660
工具、器具及び備品(純額)	211	177
土地	2,221	2,221
リース資産(純額)	5,890	5,473
建設仮勘定	189	221
有形固定資産合計	48,220	45,780
無形固定資産		
ソフトウェア	190	255
その他	73	69
無形固定資産合計	264	325
投資その他の資産		
投資有価証券	73	71
関係会社株式	4,758	4,758
繰延税金資産	3	3
退職給付に係る資産	99	101
その他	447	446
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	5,379	5,378
固定資産合計	53,864	51,484
資産合計	83,033	81,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,615	1,413
短期借入金	19,457	19,825
リース債務	1,110	952
未払法人税等	245	269
賞与引当金	859	670
役員賞与引当金	70	43
その他	1,150	988
流動負債合計	24,510	24,163
固定負債		
長期借入金	15,958	14,435
リース債務	4,972	4,694
繰延税金負債	408	401
資産除去債務	989	1,000
固定負債合計	22,329	20,532
負債合計	46,840	44,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	10,952	11,505
自己株式	△76	△76
株主資本合計	35,862	36,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	40
繰延ヘッジ損益	9	18
為替換算調整勘定	79	15
退職給付に係る調整累計額	79	60
その他の包括利益累計額合計	210	134
非支配株主持分	119	121
純資産合計	36,192	36,671
負債純資産合計	83,033	81,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	23,014	15,475
売上原価	18,957	11,941
売上総利益	4,057	3,534
販売費及び一般管理費	2,347	2,471
営業利益	1,709	1,062
営業外収益		
為替差益	8	—
物品売却益	12	9
固定資産受贈益	31	—
受取技術料	—	407
受取保険金	—	78
雑収入	20	20
営業外収益合計	72	515
営業外費用		
支払利息	192	143
為替差損	—	87
火災損失	81	4
雑損失	19	12
営業外費用合計	293	248
経常利益	1,488	1,330
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	5	12
特別損失合計	5	12
税金等調整前四半期純利益	1,483	1,317
法人税、住民税及び事業税	58	156
法人税等調整額	△7	248
法人税等合計	51	405
四半期純利益	1,432	912
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,439	908

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,432	912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△1
繰延ヘッジ損益	0	9
為替換算調整勘定	△6	△63
退職給付に係る調整額	△50	△19
その他の包括利益合計	△59	△76
四半期包括利益	1,372	836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,379	832
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,483	1,317
減価償却費	3,140	2,839
賞与引当金の増減額(△は減少)	204	△189
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,539	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△29	△1
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	192	143
固定資産除却損	5	3
売上債権の増減額(△は増加)	△1,258	596
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,447	△1,870
仕入債務の増減額(△は減少)	△334	△202
未払金の増減額(△は減少)	△374	△99
未払費用の増減額(△は減少)	58	△3
未収入金の増減額(△は増加)	696	334
未収消費税等の増減額(△は増加)	181	127
破産更生債権等の増減額(△は増加)	2,539	—
その他	△146	104
小計	6,265	3,101
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△173	△129
法人税等の支払額	△8	△83
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,084	2,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△366	△377
その他	63	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△303	△376
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,300	15,550
短期借入金の返済による支出	△10,500	△12,300
長期借入れによる収入	3,500	—
長期借入金の返済による支出	△6,312	△4,404
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△650	△633
配当金の支払額	—	△355
非支配株主への配当金の支払額	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,665	△2,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△63
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	109	302
現金及び現金同等物の期首残高	2,368	1,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,478	1,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン事業	機能化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,331	6,682	23,014	—	23,014
セグメント間の内部売上高又は 振替高	492	4	496	△496	—
計	16,824	6,687	23,511	△496	23,014
セグメント利益	909	1,691	2,601	△892	1,709

(注) 1. セグメント利益の調整額△892百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である海外子会社2社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るために、第1四半期連結会計期間より四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結する方法に変更しております。

これに伴い当該子会社の業績については、平成27年1月1日から平成27年9月30日までの9ヶ月間を連結し、連結損益計算書を通して調整しております。このうち平成27年1月1日から平成27年3月31日までの売上高は、金属チタン事業が1,302百万円、機能化学品事業が616百万円、セグメント利益は、金属チタン事業が42百万円、機能化学品事業が10百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン事業	機能化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,032	6,442	15,475	—	15,475
セグメント間の内部売上高又は 振替高	545	4	549	△549	—
計	9,577	6,447	16,025	△549	15,475
セグメント利益	132	1,941	2,074	△1,011	1,062

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,011百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。